

小学校

第6学年 「社会科」指導計画

単元名	国づくりへの歩み		
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大昔の日本において、むらからくにへと社会の様子が変化したことについて理解するとともに、遺跡や文化財、地図帳や年表などの各種の資料を通して、歴史上の事象を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・むらからくにへと社会の様子が変化したことについて、世の中の様子や人物の働き、代表的な文化遺産などに着目して、多面的に考えたり、考えたことや選択・判断したことを説明したりする力を養う。 ・大昔の日本の暮らしについて、狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷による統一の様子、神話や伝承、代表的な文化遺産などに関心を持ち、主体的に学習の問題を追究・解決しようとする態度を養う。 		
地域、児童の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・第4学年の学習において、道内の伝統や文化、先人の働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を行っている。 ・地域において、郷土資料博物館等の古代の歴史について学ぶ環境が整っている。 		
単元の評価規準	<p style="text-align: center;">知識・技能</p> <p>①世の中の様子や人物の働き、代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図帳や年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷による統一の様子を理解している。</p> <p>②調べたことを年表や図表などにまとめ、むらからくにへと世の中の様子が変化したことを理解している。</p>	<p style="text-align: center;">思考・判断・表現</p> <p>①世の中の様子や人物の働き、代表的な文化遺産などに着目して、問いを見いだし、狩猟・採集の生活や農耕が始まった頃の生活の様子、古墳の出現と広がり、大和朝廷の支配の広がりについて考え、表現している。</p> <p>②狩猟・採集の生活や農耕が始まったころの生活の様子、古墳の出現と広がり、大和朝廷の支配の広がりについて調べ、これらの事象を比較したり関連付けたりして、世の中の様子の変化を考え、文章で記述したり説明したりしている。</p>	<p style="text-align: center;">主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①大昔の日本の社会の変化について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>
教材について	<ul style="list-style-type: none"> ・「北海道の縄文遺跡～北海道の縄文時代と世界遺産を学ぼう～小学生用」(北海道教育委員会) ・「北の縄文世界 リーフレット版」(北海道) ・その他、3D資料、動画資料、写真資料等 		
地域の人材について	<ul style="list-style-type: none"> ・新ひだか町博物館学芸員 ・浦河町立郷土博物館学芸員 		
地域の施設について	<ul style="list-style-type: none"> ・静内御殿山墳墓群 (所在地：新ひだか町) ・西舎遺跡 (所在地：浦河町) 		

単元の指導と評価の計画（全7時間）		
時間	○主な学習活動・内容	評価方法と【評価規準】
1	<p>○ 狩りや漁をしていたころの生活の様子について、想像図を活用して、気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服、食べ物、住居、道具、作業 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「狩りや漁をしていたころ」はどのような暮らしをしていたのだろうか。</p> </div> <p>○ 狩りや漁をしていたころの生活の様子について、北海道の縄文遺跡群に関する資料を活用して調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服、食べ物、住居、道具、作業 	<p>ノートの記述や発言内容から、「狩猟や採集の生活が営まれていたことについて、豊かな自然に着目して考え、表現しているか」を評価する。 【思-①】</p>
2	<p>○ 米づくりが広まったころの生活の様子について、想像図を活用して、狩りや漁をしていたころの生活の様子と比較しながら話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服、食べ物、住居、道具、作業 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「米づくりが広まったころ」はどのような暮らしをしていたのだろうか。</p> </div> <p>○ 学習問題をつくり、学習計画を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>大昔の人々の暮らしは、どのように変わっていったのだろうか。</p> </div>	<p>発言内容から、「狩猟・採集の生活から農耕の生活への変化に着目し、学習問題として表現しているか」を評価する。 【思-①】</p> <p>ノートの記述や発言内容から、「大昔の日本の社会の変化について、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。 【態-①】</p>
3	<p>○ 米づくりによる生活の変化について、想像図や写真資料などを活用し、この時代の米づくりの方法や作業の特徴と関連付けながら考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>米づくりが始まり、人々の暮らしはどのように変わっていったのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・方法、道具、作業の特徴 ・生活の変化 	<p>ノートの記述から、「想像図や写真などから、農耕による人々の生活の変化について理解しているか」を評価する。 【知-①】</p>
4	<p>○ 大規模な集落が生まれたころの様子について、吉野ヶ里遺跡や出土物についての写真資料を活用し、米づくりの広がりに関連付けながら考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>米づくりの広がりによって、むらの様子はどのように変わっていったのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・人々の生活や社会の様子の変化 	<p>ノートの記述や発言内容から、「人々の生活や社会の様子が変化していったことについて、米づくりがさかんになったことに着目して考え、表現しているか」を評価する。 【思-①】</p>
5	<p>○ 朝廷の支配の広がりや朝廷と各地の豪族との関係について、前方後円墳の分布や古墳の出土品の写真資料を活用し、古墳の場所や規模、出土物と関連付けながら考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>古墳の規模や広がりから、どのようなことが分かるだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・古墳の規模、分布、出土品 ・社会の様子の変化 	<p>ノートの記述や発言内容から、「古墳の分布や出土品の写真資料などから、有力豪族を中心とした大和朝廷によって大和地方を中心として地域の統一が進められたことを理解しているか」を評価する。 【知-①】</p>

時間	○主な学習活動・内容	評価方法と【評価規準】
6	<p>○ 豪族の権力の大きさや大陸から伝わった技術の果たした役割について、古墳づくりの様子の想像図や渡来人が伝えた技術や文化についての資料を活用して、古墳造営の困難さと豪族の権力の大きさ、大陸から伝わった技術を関連付けながら調べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">古墳はどのようにしてつくられたのだろうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・古墳づくりの様子 ・大陸とのつながり 	<p>ノートの記述や発言内容から、「想像図や資料などから、古墳づくりの具体的な作業を行った豪族の権力の大きさや、大陸とのつながりを理解しているか」を評価する。 【知-①】</p>
7	<p>○ これまで学習したことについて、どのように人々の生活が変わっていったのかについて話し合い、大昔の人々の生活や社会の様子の変化をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">大昔の人々の暮らしは、どのように変わっていったのだろうか。</div> <p>○ このころの北海道について、各種資料から、北海道にも多くの縄文遺跡があること、その中には世界遺産に登録されているものがあること、北海道には弥生時代や古墳時代がないことを知る。</p>	<p>ノートの記述内容から、「狩猟・採集の生活や農耕が始まったころの生活の様子、古墳の出現と広がり、大和朝廷の支配の広がりについて、これらの事象を比較したり関連付けたりして、世の中の様子の変化を考え、文章で記述したり説明したりしているか」を評価する。 【思-②】</p> <p>ノートの記述内容から、「調べたことを図表にまとめ、むらからくへへと人々の生活が変化したことを理解しているか」を評価する。 【知-②】</p>

※ 学習過程：【学習問題をつかむ】 1・2時 【学習問題を追究する】 3・4・5・6時 【まとめる】 7時

本時の計画（1／7時間目）	
本時の目標	想像図を読み取ったり出土物などを調べたりして、縄文時代の人々の生活の様子を捉え、表現できるようにする。
<div style="background-color: #0056b3; color: white; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">学習過程</div> ● 主な学習内容	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>○ 評価</p> <p>○ 人材、施設、資料等の活用</p> <p>■ 指導上の留意点</p> </div> <div style="width: 35%; border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <p>○ 狩りや漁をしていたころの様子を具体的に想像するために、地域の博物館の実物資料、写真資料を活用する。</p> <p>■ 児童が発言した内容を衣食住や道具、作業に分類しながら整理する。</p> <p>■ 衣食住に分類した意味について、生活の変化から世の中の変化の様子を考えることができることを説明する。</p> </div> </div>
<div style="background-color: #0056b3; color: white; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">つかむ</div>	<ul style="list-style-type: none"> ● 狩りや漁をしていたころの想像図を見て、気付いたことを話し合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが同じような服を着ている。 ・木の実を採ったり、動物や魚を捕まえたりしている人たちがいる。 ・家を作ったり、土器を作ったりしている人たちがいる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;">「狩りや漁をしていたころ」はどのような暮らしをしていたのだろうか。</div>

<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="background-color: #0056b3; color: white; border-radius: 15px; padding: 5px 10px;">学習過程</div> <div>● 主な学習内容</div> </div>	<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <input type="checkbox"/> 評価 <input type="radio"/> 人材、施設、資料等の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 指導上の留意点 </div>
<div style="background-color: #0056b3; color: white; border-radius: 15px; padding: 5px 10px; margin-bottom: 10px;">追究する</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 狩りや漁をしていたころの生活の様子について、北海道の縄文遺跡群に関する各種資料や3D資料を活用して調べる。 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・植物を利用して衣服を作っていた。 ・動物の毛皮や魚の皮などを利用して衣服を作ることもあった。 ・動物の骨でくしや腕輪などのアクセサリや衣服を縫うための針などを作っていた。 ・動物や魚介類、木の実などを食べていた。 ・動物や魚介類を捕るために、石で矢じりや槍を作ったり、動物の骨で銚や釣り針を作ったりしていた。 ・木の実を調理するために、たたき石や石皿、すり石など石で道具をつくっていた。 ・堅い木の実は、土器を使って煮て食べられるようにしていた。 ・土器には縄文の文様がついていて、いろいろな形のものがある。 ・竪穴住居といわれる建物に住んでいた。 ・竪穴住居は、地面を掘ってできた穴を木や草などで覆うようにしていた。 ・女性の形や動物の形をした土偶や、児童の手や足形がついた土版がある。 ・食べ物や水を得られるよう、海や川、森の近くに集団で住んでいた。 ・狩りや漁は何人かで協力して行っていた。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 調べたことをもとに、狩りや漁をしていたころの生活の様子について考え、グループや全体で交流する。 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・捕まえた動物は食べるだけでなく、骨や角、毛皮なども使って、生活に必要な衣服や道具を作っていた。 ・粘土を焼いて作った縄文土器を使うことで、食べ物を保存するだけでなく、煮炊きを行い、食べられるものを増やしていた。 ・竪穴住居とよばれる住まいは、地面を掘ることで使う木の量を少なくしたり、寒さを防いだりすることができたと考えられている。 ・土偶や土版などの出土物から、海や山の豊かなめぐみや、安産や児童の成長を願っていたことが分かる。 </div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; border-radius: 15px; padding: 5px 10px; margin-bottom: 10px;">まとめる</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 学習したことを振り返る。 ・交流したことをもとに、狩猟や採集の生活が営まれていたことについて、豊かな自然に着目して考え、表現する。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>狩りや漁をしていたころの人々は、生活に必要な道具を、土や石、木、骨などの自然にあるものを使って作り、協力して狩猟や採集をして暮らしていた。</p> </div>	<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 10px;"> <div> <input type="radio"/> 児童が縄文時代への興味・関心を高めることができるよう、外部講師に実際に生活に使用していた黒曜石、土器等の実物資料を紹介していただく。 </div> <div> <input type="radio"/> 狩りや漁をしていたころの生活の様子について調べるために、1人1台端末により3D資料を活用する。 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>《3D資料》 新ひだか町博物館 Sketchfab (https://sketchfab.com/s/hinhidaka_museum)</p> </div> <div> <input checked="" type="checkbox"/> 調べたことについて、衣食住の視点で分類するように伝える。 </div> <div> <input checked="" type="checkbox"/> 1人1台端末の付箋機能やホワイトボード機能などを活用し、交流が円滑に進むようにする。 </div> <div> <input type="radio"/> 児童が縄文時代への理解を深めることができるよう、外部講師に児童の発言内容を取り上げながら、当時の生活の様子を説明していただく。 </div> <div> <input type="checkbox"/> ノートの記述や発言内容から、「狩猟や採集の生活が営まれていたことについて、豊かな自然に着目して考え、表現しているか」を評価する。(思一①) </div> <div> <input type="radio"/> 児童が縄文時代への興味・関心を高めることができるよう、外部講師に地域の博物館の資料を紹介していただく。 </div> </div>